

九州大学病院基金 ご寄附のお願い

九州大学病院は、先進的な医療の促進と安全性の強化を図り、地域の医療拠点として、患者さんが満足できる医療環境を提供し続けてくため、九州大学病院基金を設置しております。皆さまのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

患者
サービスの
向上



高度医療
の提供



九州大学病院基金の用途

医療
スタッフ
の育成



質の高い
臨床研究
の推進



九州大学病院基金へのご寄附は税制上の優遇措置が受けられます。また、寄附者さまへの謝意として顕彰をご用意しています。

クレジットカード決済または金融機関からの振込でお受けします。

詳しくは、九州大学病院基金webサイトをご覧ください。

<https://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/info/kikin/>



お問い合わせ

●九州大学病院へのご寄附に関すること
九州大学病院事務部研究支援課研究資金係
TEL:092-642-6032
Mail:mdtkanri@jimu.kyushu-u.ac.jp

●寄附手続きに関すること
九州大学総務部同窓生・基金課基金係
TEL:092-802-2150
Mail:k-kikin@jimu.kyushu-u.ac.jp

別冊

九大病院ニュース

Kyushu University Hospital News

vol.01
2024 April

創刊号



医療で
未来を
支える。

SUPPORTING THE FUTURE WITH MEDICAL CARE



ニュース
ウィーク誌
World's Best
Hospitals
2023



世界
ランキング
68位
(選出された250施設中)

日本
ランキング
4位



ESQR
(European Society for
Quality Research)から
Quality Achievement
Award 2023 を受賞。



※ESQR:スイス・ローザンヌに本部を
置く品質向上技術の認識と研究を
目的とした組織



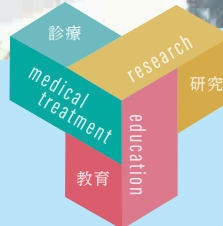
医療の質向上に向けた取り組みが高く評価された。

数字で見る九州大学病院

DATA

- 職員数 **3,312名**
- 病床数 **1,267床**
- 診療科
医科**37科**
歯科**4科**
- 年間手術件数 **11,654件**
- 1日平均
外来患者数 **3,137名**
- 1日平均
入院患者数 **949名**

※令和4年度



SUPPORTING
THE FUTURE
WITH MEDICAL CARE

病院長からのメッセージ

医療の未来をつくりたい。

日頃より九州大学病院の活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

九州大学病院は、「患者さんに満足され、医療人も満足し、医療の発展に貢献する病院を目指します。」との理念のもと、高度医療の中核拠点として、また地域の医療機関と連携し、地域医療の最後の砦となる特定機能病院として日々邁進しています。

このたび、私たちの組織や活動について、更に深く理解していただくことを目的として、「別冊九大病院ニュース」を創刊する運びとなりました。

最新の機器・設備と鋭意研鑽を積んできましたスタッフたちによる、日本屈指の最先端医療について紹介していますので、是非ご一読くださるとともに、引き続き力強いご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



病院長 中村 雅史



九州大学病院の活動

診療

medical treatment

高度医療の提供



ロボット手術 (da Vinci) の様子



ロボット手術 (da Vinci) 術者の様子

1

ロボット技術が描く希望 すい臓がんへの 新たなアプローチ

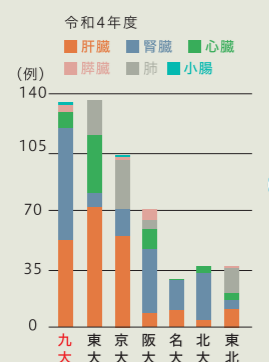
がんの中で最も発見や治療が難しいとされている膵臓がんの複雑な手術にロボット手術を採用し、高い成果をあげています。この手術が受けられる医療機関は、日本でもごくわずかです。

2

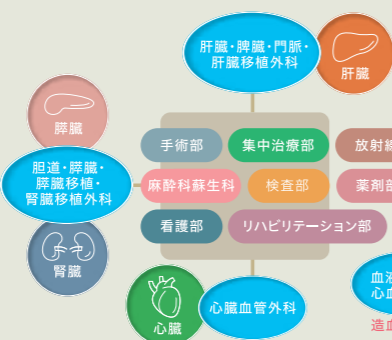
総合力と豊富な経験 最先端の臓器移植

九州大学病院の臓器移植（肝臓、心臓、腎臓、膵臓、小腸）は、その症例数、技術レベルともに国内トップクラスです。2023年2月には、肝移植手術数が1000例に到達。これは日本全体の肝移植の10%を占める実績で、その後の10年生存率も約80%と高いレベルを維持しています。この成績を支えるのは、大学病院ならではのチーム医療が生み出す「総合力」。多くの診療科や部が連携することで、最良の治療を提供しています。

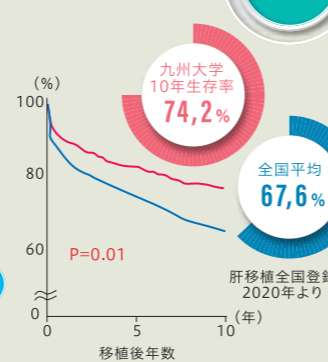
臓器移植症例数 トップ7施設（国公立）



臓器移植実施のための総合力



成人間生体 肝移植生存率



移植手術用の臓器運搬の様子 (ドクターヘリ)

4

最先端でありながら安全 最新の放射線検査

疾患の早期発見、診断、治療方針の決定、治療の効果判定と幅広く利用される放射線検査。九州大学病院では最新機器を多数保有し、患者さんの負担はできるだけ軽く、短時間に、精密で安全な検査を行っています。

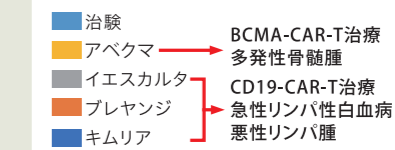
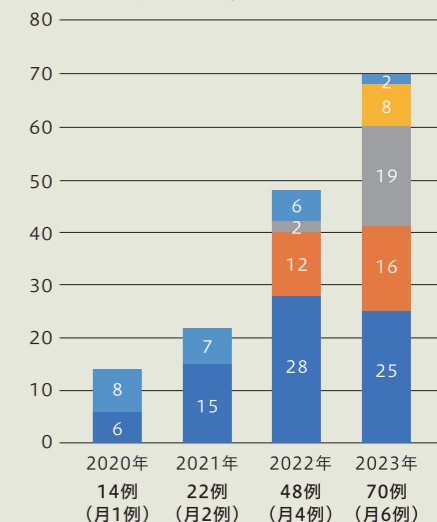
3

がん治療への新たな一歩 革新的なCAR-T治療

CAR-T治療は、患者さんから免疫細胞(T細胞)を採取、がん細胞を見つけて攻撃する能力を持たせるような遺伝子(CAR)を導入し、その細胞(CAR-T細胞)を再び患者さんに戻す、遺伝子免疫細胞治療です。“Living drug”として、今までの治療法では治癒が望めなかった患者さんに対し、治癒の可能性を開く画期的な治療法として期待されています。



● 本院におけるCAR-T治療 - 全国随一の治療件数 -



治療の件数が減少し、アベクマ・イエスカルタ・プレヤンジ・キムリア等を用いた治療法が年々実用化



MRI装置



撮影室



PET装置



研究

research

すべての人に九大の医療を 遠隔手術への挑戦

1

九州大学病院は2008年からアジア遠隔医療開発センターを設置しており、遠隔医療については先進的な施設です。

2024年には九州大学病院と別府病院間で、模擬臓器を用いた遠隔手術の実証実験を行いました。

遠隔手術は、都市部から離れた場所でも大学病院と同レベルの手術を受けられるというメリットがあります。早期実現を目指し、今後も実証を重ねていきます。

遠隔地から指示を書き込むシステム



テレプロを利用した実証実験

未来の医療を創造する 臨床研究と治験

2

九州大学病院は、日本初の革新的な医薬品や医療機器の開発に必要な質の高い臨床研究や治験を推進するための中心的役割を担う病院として、「臨床研究中核病院」に認定されています。

臨床試験に参加する患者さんの安全を守りながら科学的で倫理的、かつ信頼性の確保された臨床研究を推進し、幅広い分野の専門職員が協力して、研究を円滑に進めています。



全国国立大学病院における本院の治験実施実績



教育

education

次世代医療界のリーダーへ シミュレーターを用いた実践教育

1

実践力向上を目指し、院内外の医師、看護師、学生を対象として医療用シミュレーターを用いたトレーニング体制を整えています。トレーニング内容は採血・注射・吸引・一次救命措置(BLS)など様々です。



医療技術の世界へ モンゴル国における消化器疾患診療の人材育成プロジェクト

2

モンゴル国における消化器疾患の診療レベル向上を目指し、医療スタッフの派遣や受入れによる医療指導、遠隔医療教育システムの確立のための技術者養成を行うプロジェクトに取り組んでいます。

